



Mercedes-Benz

お知らせ

Press Information

2010年12月1日

## テックマスターズ 2010 世界大会 ～日本チームは3大会連続で優秀な成績～

- ・ 第三回グローバル・テックマスターズに14カ国の代表チームが参加
- ・ 日本代表チームは、システムテクニシャンドライビング スタビリティ部門 2位、総合5位 に入賞

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下 MBJ、社長: ニコラス・スピークス、本社: 東京都港区)は、ドイツ シュツットガルトで開催されたメルセデス・ベンツのサービス技術を競う世界大会「TechMasters (テックマスターズ)」で、日本代表チームが参加14カ国中「総合」5位、「システムテクニシャン・ドライビング スタビリティ部門」2位の優秀な成績を収めたことを発表しました。

テックマスターズは乗用車と商用車の大会が隔年で実施されているもので、乗用車は2005年、2007年に続く第3回大会となりました。本世界大会には、基準を満たす14カ国の国内大会を勝ち抜いた各国代表チームが参加し、11月16日～18日の三日間、ダイムラー本社トレーニングセンターを舞台に技術を競うと同時に、交流を深めました。テックマスターズでは、単に技術能力だけでなく、お客様対応、チームワークも審査対象としており、一連の活動を通じて、サービス拠点の技術力向上、お客様満足度の更なる向上、組織力の強化を目的としています。

日本代表チームは、4月の一次審査(筆記試験)の後、7月の全国大会(実技試験)で部門優勝した販売店サービススタッフ5名で構成され、チームワーク醸成を目的とした4週間に亘る特別トレーニングを経て、世界大会に臨みました。

MBJでは、千葉県習志野市の新トレーニングセンター及び愛知県豊橋市のトレーニングセンターで、メルセデス・ベンツ正規販売店のスタッフにこれまで以上に質の高いトレーニングをより多く実施することで、アフターセールス体制を更に強化し、お客様に最高レベルのサービスを提供するために全力を尽くしてまいります。

【テックマスターズ 2010 世界大会】

1. 出場国

アフリカ： 南アフリカ

アジア： 日本、インド、韓国、ロシア

欧州： ドイツ、イギリス、ポルトガル、スイス、ベルギー、ルクセンブルク、ポーランド

北米： 米国

南米： ブラジル

計 14 カ国

2. 日本チームメンバー(敬称略)

サービス アドバイザ部門： 粟野<sup>あわの</sup>達<sup>たつよし</sup>鮮 (メルセデス・ベンツ浜松和田)

ダイアグノシス テクニシャン部門： 中山<sup>なかやま</sup>雄<sup>ゆう</sup>介<sup>すけ</sup> (メルセデス・ベンツ奈良四条)

システムテクニシャン パワートレイン部門： 井上<sup>いのうえ</sup>和<sup>かず</sup>明<sup>あき</sup> (メルセデス・ベンツ市川)

システムテクニシャン ドライビング スタビリティ部門： 梅本<sup>うめもと</sup>哲<sup>てつ</sup>之<sup>ゆき</sup> (ヤナセ千葉支店)

メンテナンス テクニシャン部門： 伊藤<sup>いとう</sup>孝<sup>たかのり</sup>則 (ヤナセ千葉支店)

3. 総合成績 順位

1位 ロシア、 2位 ドイツ、 3位 米国、 4位 韓国、 5位 日本